

1. ワークライフバランス推進強化月間における各府省等の主な取組例

※詳細は資料3-2参照

【共通取組事項】 …全ての府省等が実施する取組事項

- ①大臣、事務次官等からの強力なメッセージの発信
メール、ビデオ、掲示板、放送等によるメッセージの発信、フロア巡回等
- ②「ゆう活」と超過勤務縮減の徹底
29年4月から本格実施した超過勤務予定の事前把握の徹底
- ③フレックスタイム制度の周知徹底
「ゆう活」に合わせたの周知・利用促進
- ④テレワークの推進強化
テレワーク・デイ(7/24)に合わせたテレワークの集中実施
- ⑤ペーパーレス化の推進
ペーパーレスによる会議・レクの実施・試行
- ⑥不要・不急業務の見直し
業務改善・効率化に係る職員提案の募集
- ⑦休暇(年次休暇・夏季休暇)の一層の取得促進
プレミアムフライデーに合わせた休暇の取得促進

【独自取組事項例】 …各府省等や各職場の実情に応じて実施する取組事項

- ①働き方改革に係る取組を省独自に表彰 (法務省、農林水産省、経済産業省、防衛省)
- ②「ゆう活」の歌の制作・公表 (消費者庁)
- ③庁舎全体の完全消灯日の実施 (厚生労働省、環境省)
- ④帰るまで管理職が「見守る」日又は週の設定 (環境省)
- ⑤スケジュール管理表による予定の見える化・共有 (会計検査院、人事院、内閣官房、金融庁、総務省、文部科学省、経済産業省、国土交通省、環境省、原子力規制委員会、防衛省)
- ⑥オフィス改革の実施 (スペースの有効活用やレイアウトを変更) (総務省、経済産業省)
- ⑦美術館・博物館やイベント情報の提供、音楽イベント等の実施 (宮内庁、文部科学省)
- ⑧仕事を効率的に進めるためのパソコン操作上のノウハウ周知、e-ラーニング研修の活用(内閣法制局、公正取引委員会、農林水産省、経済産業省)
- ⑨管理職員向けマネジメント能力向上のため研修の実施等 (内閣府、警察庁、財務省、農林水産省、経済産業省、環境省)
- ⑩男性職員の育児参加のためチェックシートの導入・周知 (外務省、財務省、経済産業省、国土交通省)

2. 平成29年度国家公務員の「ゆう活」のポイント

- ① フレックスタイム制等も活用しつつ、終業時刻を17時15分までに早め、原則定時退庁
- ② 霞が関等において、原則20時以前の庁舎の消灯を励行
- ③ 「ゆう活」の前提として、業務削減、業務効率化等の「働き方改革」を推進

